

# 太田市合併10周年記念事業

## ～国際姉妹都市バーバンク市親善交流団派遣

平成27年1月21日（水）から26日（月）、太田市の合併10周年記念事業として、姉妹都市提携から30周年を迎えた米国バーバンク市に親善交流団として19名の市民が訪問しました。今回の訪問では消防署や発電所、高校等の施設見学などを実施するとともに、バーバンク市民との交流を行いました。記念交流会には姉妹都市提携調印時のスタンパー元市長も出席され、祝辞を述べられました。交流会にはホストファミリーとして日本からの学生を受入れて下さったバーバンク市民の方々をはじめ、多くの市民が出席され、今後の両市における国際交流を一層深めていく機会となりました。



バーバンク警察署



バーバンク市役所前



バーバンク高校見学



記念交流会

### アジアからの留学生と交流



平成27年2月22日（日）、市内の大学に在籍するアジア圏出身留学生と日本人市民との交流事業を行いました。中国、ベトナム、インドネシアとモンゴルからの留学生5人は、ご協力いただいた市民の家庭を訪問し、さまざまな日本文化に触れながら交流を深めました。

日本家屋に特有な床の間や仏壇を見たり、茶道やかるたに神楽踊りなどを体験しました。雛飾りや羽子板などの日本伝統文化についても学んだり、ちらしづしや梅干しなどの「和食」をいただきながら日本人市民とそれぞれ自分の国の習慣や文化、来日して驚いたことなどについての歓談で盛り上りました。

「あたたかな歓迎を受け、留学生活ではなかなかできない体験をたくさんさせていただき、とても楽しく有意義なひと時を過ごせた」、「太田かるたを通して太田のことがたくさん分かるようになってこれから地元の人との交流の際にもっと話題が広がりそう、自分にも太田への「郷土愛」が生まれた」と留学生たちは大満足した様子でした。



太田かるた



神楽踊り体験



いっしょにパン作り

## 初級ポルトガル語講座開催



初心者を対象にポルトガル語のみならずブラジルの生活や文化、習慣等の理解を深めることを目的として、平成26年11月4日～12月9日までの毎週火曜日（全6回）、太田市国際交流センターにおいて初級ポルトガル語講座を開催しました。今年度も、引き続き太田市教育委員会バイリンガル教員の坂本裕美先生を講師に迎えました。

授業について受講生からは「とても分かりやすく楽しく受講することができた」、「継続してポルトガル語を勉強したい」等の声もあり好評でした。本市と近隣市町にはブラジル国籍の方が多く暮らしているためブラジル料理のレストランやスーパーもあり、ポルトガル語を耳にする機会が非常に多いので、当講座をきっかけにポルトガル語を習得された方々が地域で交流をさらに深めて頂くことを期待します。

## デイリー・イングリッシュ（英会話講座）開催

平成26年11月7日～12月19日までの金曜日（全6回）、太田市国際交流センターにおいてデイリー・イングリッシュ講座を開催しました。講師はALT（英語指導助手）の江頭カリナ先生です。

楽しみながら講義を受けたいという受講生が中心となり、朗らかな雰囲気のなか英会話が活発に飛び交っていました。



### 受講生の感想

- ◆発音に特に注目して教えてくれてとても良かった。時々日本語で説明してくれるので助かりました。
- ◆エネルギーのある先生とたくさん会話ができよかったです。久しぶりに学生にもなりました。

## 初級スペイン語講座開催

初心者を対象にスペイン語の修得のみならずスペイン語圏の人々の生活、文化等の理解を深めることを目的として、平成26年11月10日から12月22日までの月曜日（全6回）、太田市国際交流センターにおいて初級スペイン語講座を開催しました。

講師は、太田市教育委員会に勤務されている日系ペルー人の阿部里奈先生です。先生の明るく分かりやすい進め方に最後まで楽しみながら受講できたと大変好評でした。

講座終了後のアンケートでは、

- ◎大変良かった。楽しかったです。もっとやりたいです。
- ◎久しぶりに、スペイン語を学べて楽しかったです。
- など、楽しそうな講座の雰囲気が伝わってきました。



## 太田日本語教室あゆみの会受講生「世界の料理教室」

外国人市民向けに日本語教室を開催しているボランティア団体「太田日本語教室あゆみの会」の主催により、恒例行事となっている「世界の料理教室」が平成26年11月9日（日）に開催されました。

今回は8カ国77人の参加があり、大勢の皆さんに自国の料理を味わってもらえるよう調理に腕を振りました。会食会ではボリビア・韓国・ベトナム・インド・イギリス・中国・メキシコ・日本の料理をいただきながら会話も弾み、交流を深めるよい機会となりました。



イギリス料理班



中華料理班



ベトナム料理班



みんなで会食

## 初級韓国語講座開催



受講生の感想

平成26年11月11日～12月16日までの毎週火曜日（全6回）、太田市国際交流センターにおいて初級韓国語講座を開催しました。講師は黄 善姫（ファン ソンヒ）先生です。

ハングルの発声など基礎をしっかりと学ぶ講座で、文化や歴史にも触れ、先生の明るくわかりやすい進め方に最後まで楽しみながら受講できたようで大変好評でした。



- ◆初級の韓国語講座ということで、難しすぎずとも楽しく学ぶことができました。6週間出席しただけで、ハングルが読めるようになったのでうれしかったです。
- ◆とてもわかりやすくて面白い授業だったので飽きずに受講できました。できればもっと長くやってほしかったです。

## 日本語ボランティア講師研修講座（初級・中級）開催



吉田好美先生



渡邊知紗先生

外国人市民に日本語を教える際の能力向上を目指す初級日本語ボランティア講師研修講座を平成26年11月15日～12月6日までの毎週土曜日（全4回）に開催しました。また、すでに日本語指導ボランティア経験のある方を対象とした中級日本語ボランティア講師研修講座を平成27年1月17日～2月7日までの毎週土曜日（全4回）に開催しました。講師は、群馬大学の吉田好美先生と渡邊知紗先生です。受講者の皆さんは熱心に先生の話を聞き、日本語を教える難しさを感じつつも楽しく受講していました。



# VOICE TO VOICE

## Qual é a sua língua materna?

Escola Municipal de Ota Higashi Chugakko  
Professora bilíngue Yuriko Clouse

Sou filha de imigrantes japoneses no Brasil. Nasci na cidade de Indaiatuba, mas cresci no sítio na cidade de Botucatu, ambas cidades do interior de São Paulo. A minha casa era um pequeno Japão no Brasil, onde era proibido falar a língua portuguesa e era obrigada a estudar a língua japonesa o que preservou a língua dos meus pais e a minha identidade.

Passei por muitas dificuldades quando ingressei na 1ª série do primário, como a única aluna na escola que não sabia falar a língua portuguesa. Muitas matérias decorei sem saber o significado delas e, este método foi eficaz para ter o êxito de ser aprovado sem repetência em nenhuma série.

Um dos obtáculos da barreira da língua é escrever as suas idéias e a redação. Para isso lia um livro por dia, lia jornais e assistia o noticiário da televisão com o dicionário na mão. Desta forma aprendi novos vocabulários e a gramática correta e completei os estudos do ensino superior no Brasil.

Como vivi em um ambiente com cultura e língua diferente de onde morava, comecei a ter muito interesse em conhecer outros países.

Em 1998 tive a oportunidade de vir ao Japão como bolsista na cidade de Wakayama. Fiquei impressionada de ver somente japoneses andando na rua. Uma coisa rara no Brasil pois, onde morava éramos a minoria. Segui estudando por mais dois anos em Osaka obtendo o título de mestre.

Voltei ao Brasil, e ao trabalhar como professora, não usava várias línguas, e depois ao trabalhar em uma empresa multinacional, não conseguia lecionar. Foi quando surgiu uma oportunidade de trabalhar como professora bilíngue em Ota. Uma profissão onde além de lecionar, usa o conhecimento da língua estrangeira. Era essa a profissão que estava procurando. Fiz a entrevista no Brasil e fui contratada.

Cheguei em Ota no dia 5 de dezembro de 2004, entrei no avião em um dia de verão muito quente de São Paulo e cheguei no inverno no Japão. O prefeito da cidade fez uma pergunta e lembro que respondi: "Aqui em Ota está muito frio".

Estou há 10 anos trabalhando como professora bilíngue, casei e tenho dois filhos que vivem em uma casa de diversidade cultural entre Brasil, Japão e Estados Unidos. A minha língua materna é japonês mas, a língua do país que vivi é português. Os meus filhos usam duas línguas desde pequenos. Qual será a língua materna deles?

A diferença da língua materna e a língua do país em que vive tem que ser visto como um desafio para a pessoa desenvolver ainda mais. Espero poder ajudar os alunos estrangeiros através da minha experiência e o meu trabalho.



## あなたの『母語』はなんですか？

太田市立東中学校

バイリンガル教員 クラウス百合子

私はブラジル移民者の娘です。サンパウロ州の田舎にあるインダイアツバ市に生まれましたが、ボツカツ市で育ちました。私の家の中は小さな日本で、ポルトガル語を使うのが禁止でした。日本語を家で勉強していたので、両親の言語と自分のアイデインティティが保たれたと思います。

小学校1年生に入学した当初は大変な思いをしました。私はポルトガル語が話せないたった一人の児童でした。ほとんどの教科の意味がわからなく、暗記しました。そのため留学生をすることもなく学校生活を過ごすことができました。

自分の考えを伝えることや作文を書くことは、言葉の大きな壁がありました。私はそれを克服するため毎日、本を一冊読み、新聞、テレビのニュースを見るときには辞書を使っていました。その努力があって新しい言葉と文法を覚えることができました。そして大学までブラジルで無事卒業することができました。

自分の住んでいる場所の文化と言語が違う環境で育ったため、他国にも興味を持つことになりました。

1998年に奨学生として和歌山市に留学しました。日本人が少数であるところに住んでいた私にとって、日本人だけが町を歩いていることが印象に残りました。それから2年間大阪府で留学を続けて日本で修士課程を修了することができました。

ブラジルに帰国して、教員の仕事をしましたが、他言語を使うことがありませんでした。そのあと外国企業で仕事をしましたが、生徒に教えることはありませんでした。そう思っていた矢先にバイリンガル教員を太田市で募集していることを知り、教員の仕事をしながら言語も使えるということが自分の探していた仕事にぴったりだと思い応募しました。ブラジルで面接やテストを受けて採用されました。

2004年1月5日に太田市にきました。サンパウロの暑い夏、飛行機に乗り、寒い冬の日本に着きました。着いた当初、太田市長さんに質問されたとき、「太田はとても寒いです」と返事をしたことを覚えています。

10年間バイリンガル教員として仕事をしています。今は結婚もして、二人の息子が日本、ブラジル、アメリカという多文化の環境にいます。私の母語は日本語で母国語はポルトガル語なのかと時々考えことがあります。息子たちは二つの言語を使っていますので、母語は何語なのかと疑問に思うこともあります。

母語と住んでいる国の言語が違うことは自分が成長するためのチャレンジとして思って欲しいです。私の経験と仕事でこれからも外国人児童生徒を支援していきたいと思っています。



サンパウロ州ボツカツ市で有名な巨人が眠る山

## ★会員募集中★

国際交流に関心のある方、ぜひご加入ください。  
会費(年額)：法人一口 5,000円 個人一口 1,000円

### 編集後記

太田市国際交流協会では、ホームページを開設し、当協会の情報を日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語で掲載しています。皆さんからのご意見・ご要望などもぜひお聞かせください。お待ちしています。

<http://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0020-007kikaku-kouryu>